

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ □内は、ロット No. 表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●思わぬケガをするおそれがありますので下記事項をお守りください。

・組立て後の製品重量は複層ガラスを使用の場合、最大で約 80kg になります。施工は対応する人数で行ってください。

●サッシ下枠が垂下がり、障子脱落のおそれがありますので下記事項をお守りください。

・枠取付け前に、収納側端部（上下）の固定ねじが効く位置に間柱（収納側上下枠受け材）を設置してください。

・下枠室外側固定フィンを躯体とのすき間がないように皿木ねじで固定した後に下枠室内側ブラケットを丸木ねじで固定してください。（本文中の図参照）

・開口部を付け枠などでふかさ場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。

・必ず指定の木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。

●漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。障子収納部も外壁仕上げと同様に防水施工・外壁仕上げをしてください。（本文中の図参照）

・下枠前面には水抜き穴がありますのでふさがらないでください。

・浴室には使用しないでください。

■取付け・荷扱い上のお願

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

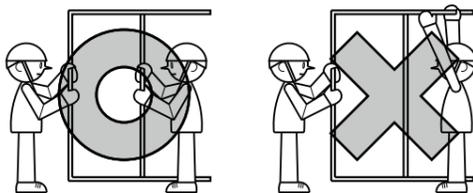
●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。

●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。

樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。

●施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。

●組立て後は収納側上下枠端部がフリーとなりますので、持運び運搬の際には、端部に力をかけないでください。



■取付けねじ一覧表

①	②	③
皿木ねじ φ 3.8 × 32 (縦枠・方立)	丸木ねじ φ 3.5 × 25 (下枠室内側ブラケット部)	皿木ねじ φ 3.1 × 20 (アングル部)

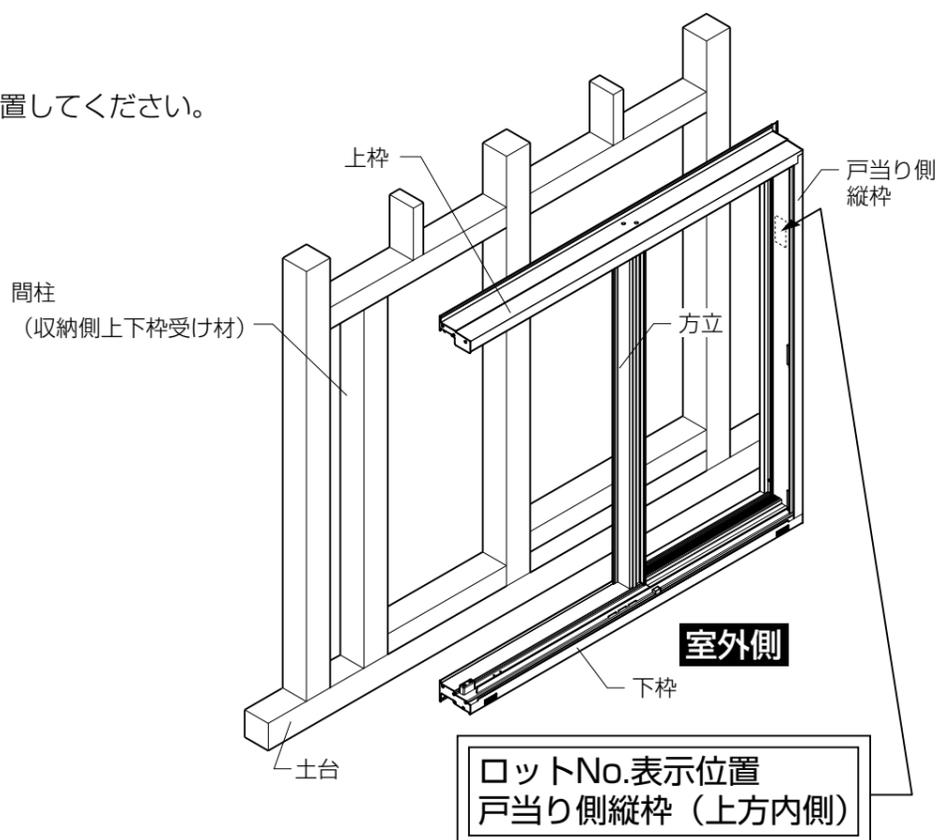
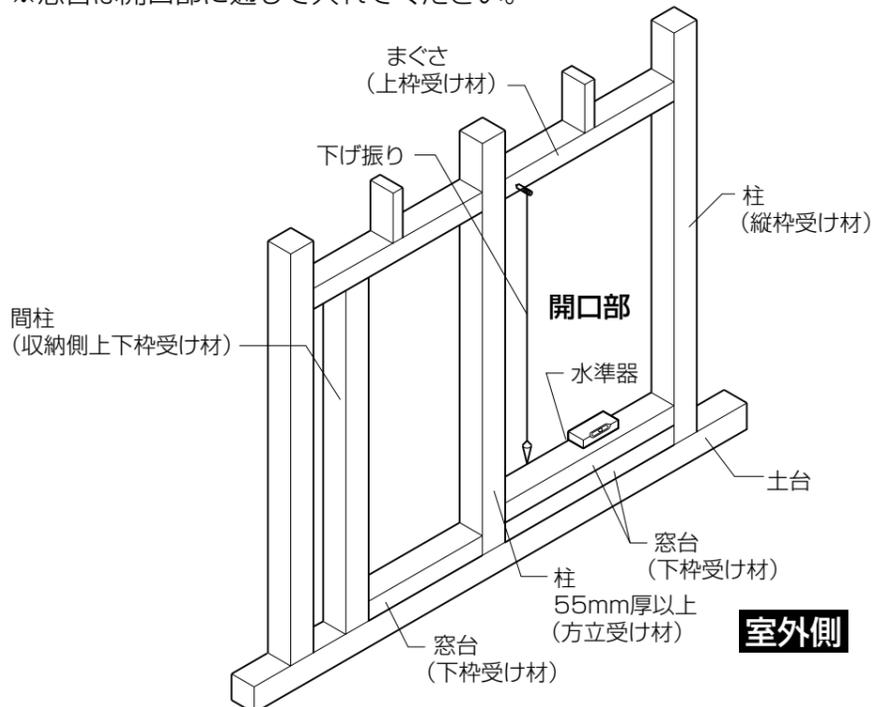
■枠の取付け

※開口部の水平・垂直の確認をしてください。

①サッシ取付け前の開口づくり

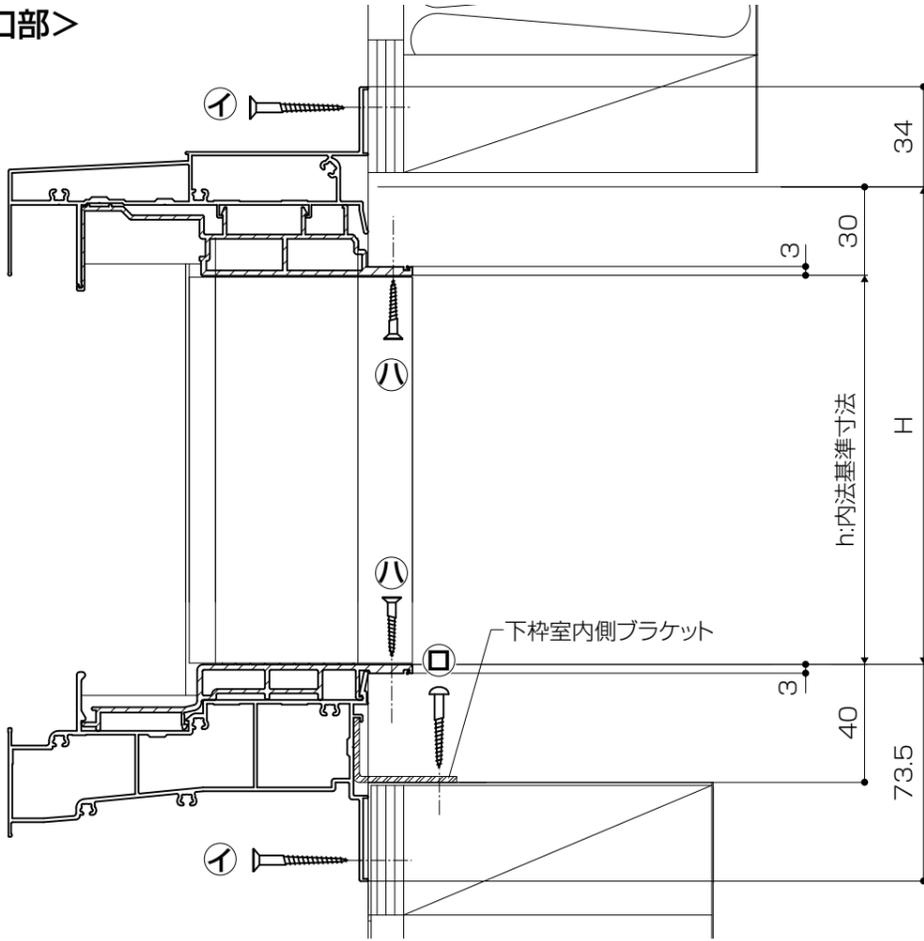
●サッシ枠固定ねじがくる位置に受け材（まぐさ・窓台・柱・間柱）を設置してください。

※窓台は開口部に通して入れてください。

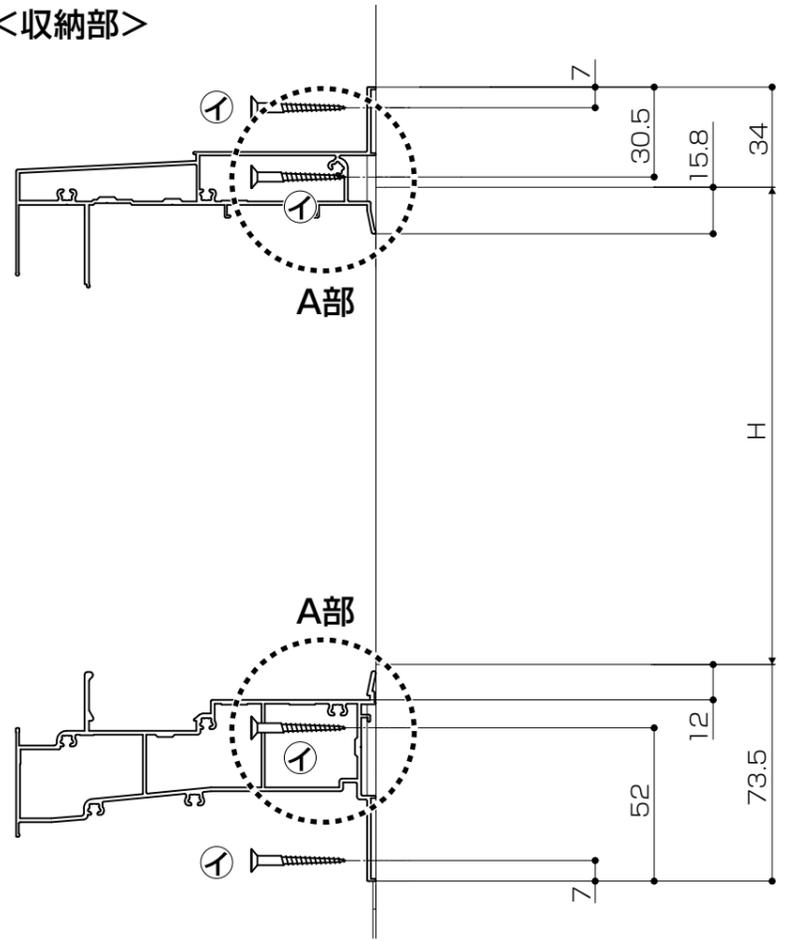


【縦断面図】

<開口部>

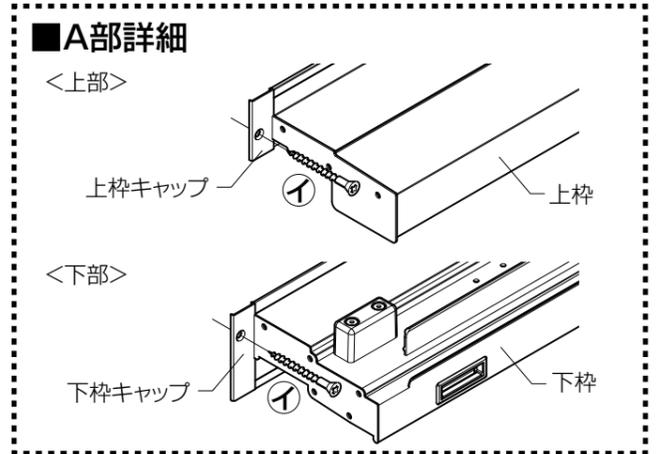
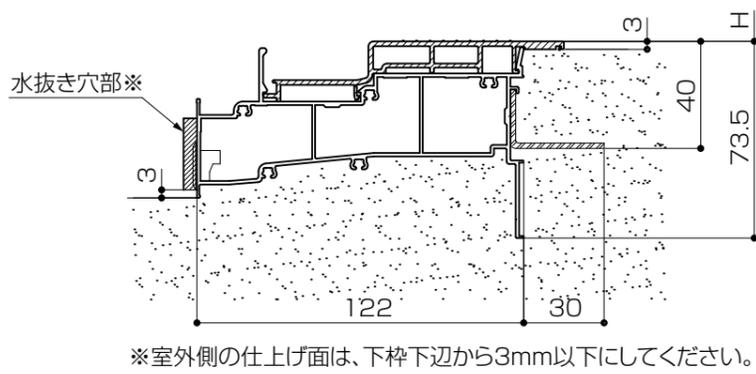


<収納部>

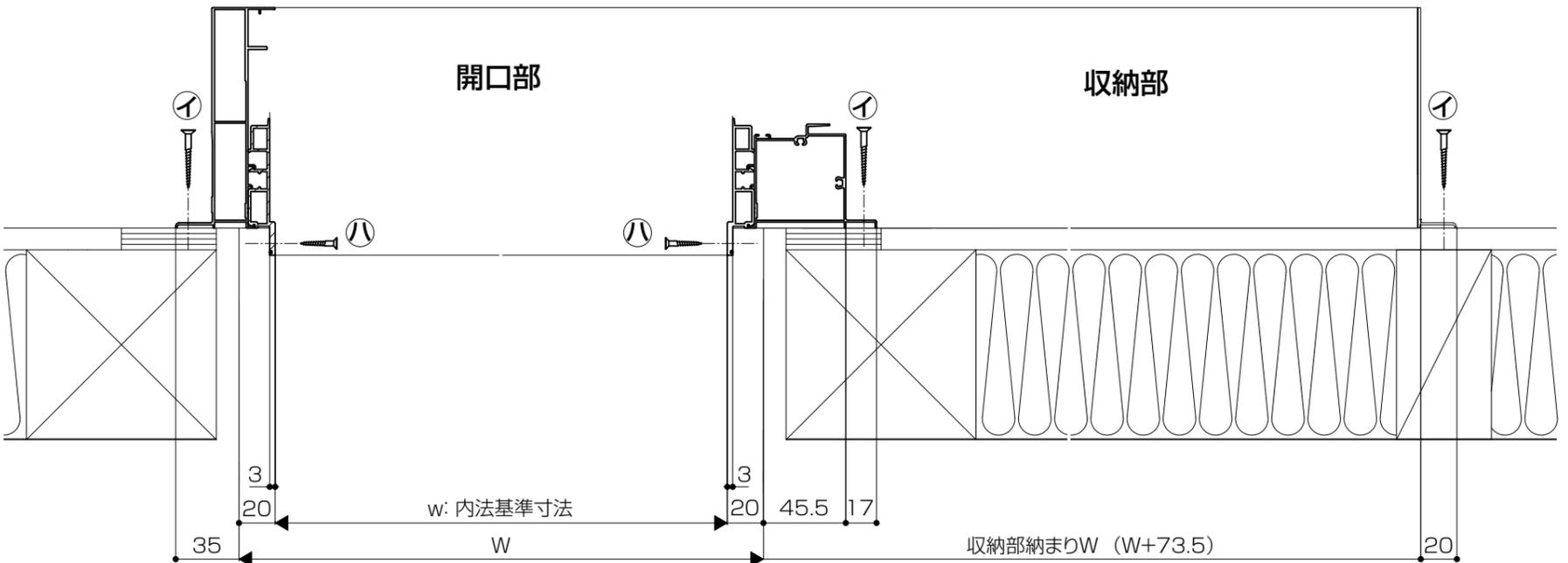


<土間納まりの場合>

▲ 注意
● 下枠前面は水抜き穴がありますので、ふさがらないでください。

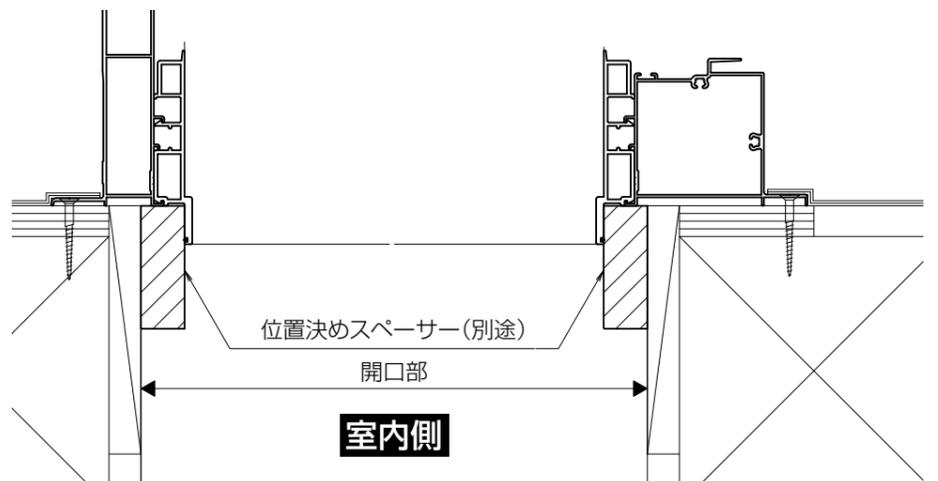


【横断面図】



② サッシ枠の固定

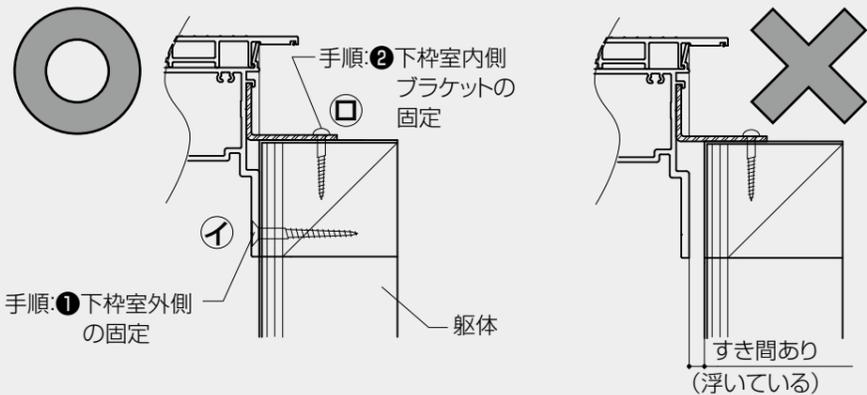
● 左右の位置決めをする際には、あらかじめ額縁が納まるスペースが確保されるように額縁の小片などの位置決めスペーサー（別途）を使用するなどして、左右の位置決めをして枠を固定してください。
※①皿木ねじφ 3.1 × 20 は額縁・床を施工後、取付けます。



1 下枠開口部の固定

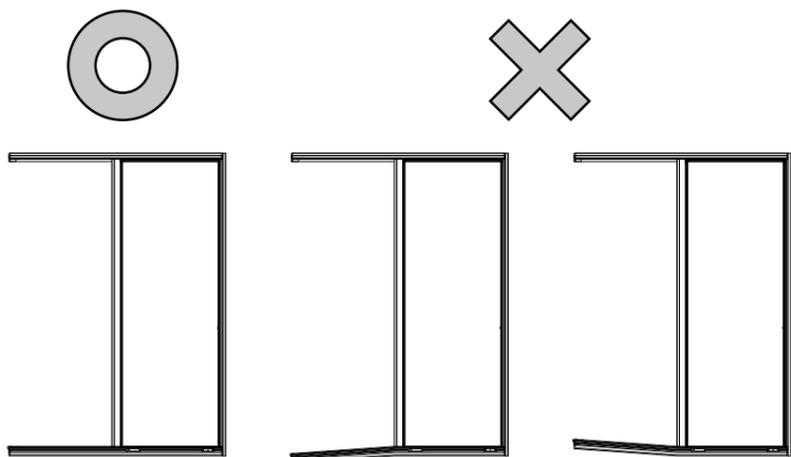
▲ 注意

- 下枠室外側固定フィンを躯体とのすき間がないように、皿木ねじで固定した後、下枠室内側ブラケットを丸木ねじで固定してください。



2 下枠収納部の固定

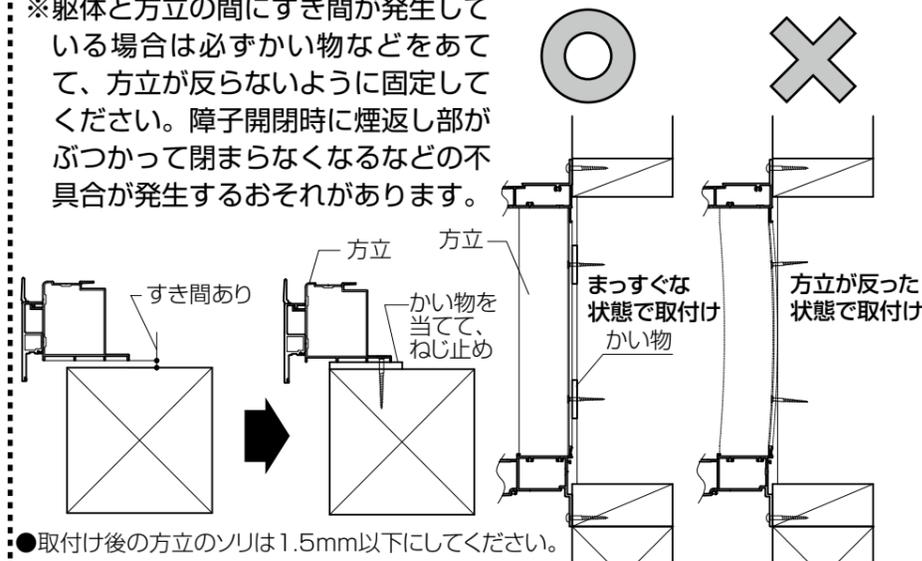
※ 下枠の収納部は水平を確認して、取付けてください。



3 方立の固定

● お願い

※ 躯体と方立の間にすき間が発生している場合は必ずかい物などをあてて、方立が反らないように固定してください。障子開閉時に煙返し部がぶつかって閉まらなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。

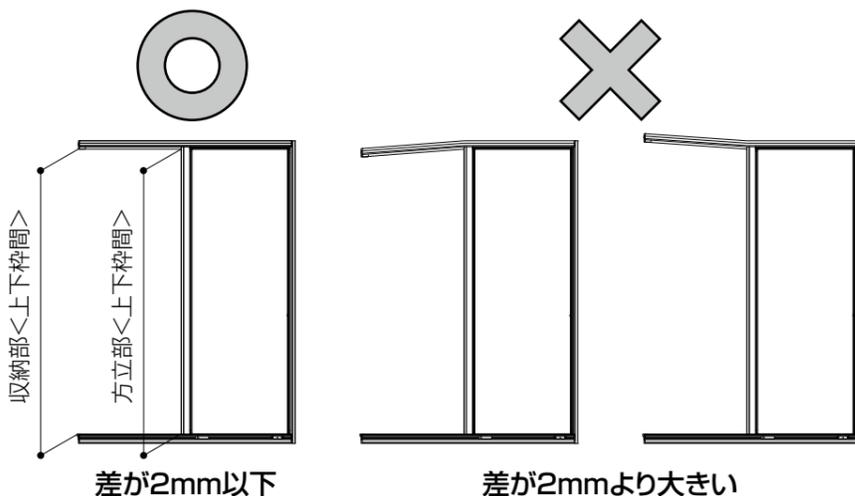


● 取付け後の方立のソリは1.5mm以下にしてください。

4 縦枠・上枠開口部の固定

5 上枠収納部の固定

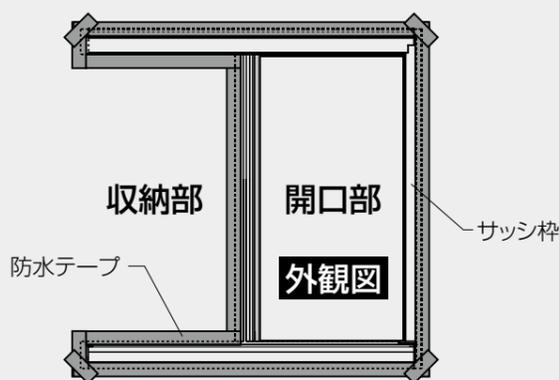
※ 上枠と下枠の間の寸法が方立部との差で2mm以下になるように固定してください。



■ サッシ枠周りおよび収納部の防水テープの張付け

▲ 注意

- 本製品取付け後、必ず防水テープ（別売り）を張ってください。障子収納部も外壁仕上げと同様に防水施工・外壁仕上げをしてください。

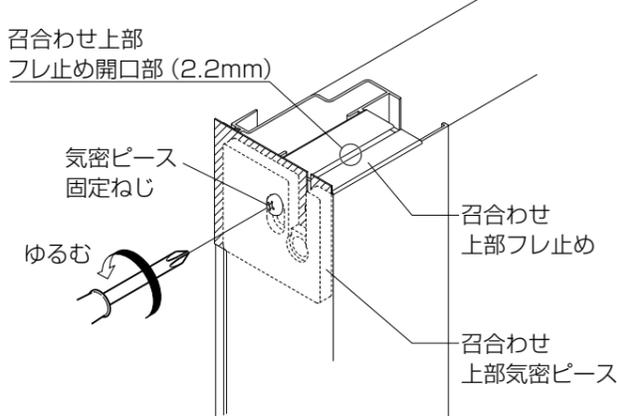


■ 障子の建込み

- 障子を建込む前に。

● お願い

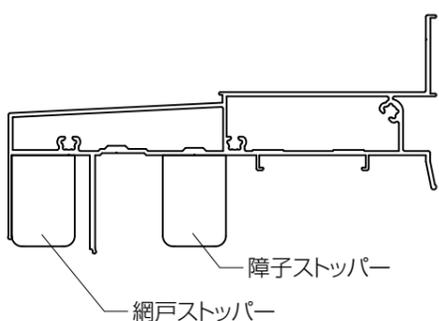
召合わせ上部フレ止めの“開口部”が開いていることを確認してください。開いていない場合は、召合わせ上部気密ピースの固定ねじをゆるめてください。“開口部”が開いていない状態で立てこむとフレ止めを破損するおそれがあります。



- 枠を固定した後、障子を建込んでください。

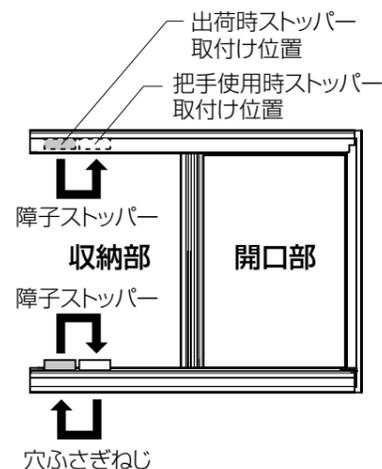
■ 把手を使用される場合

- ① 把手を使用される場合、上下枠に付いている障子ストッパーの位置を変更してください。
 - ② 下枠の障子ストッパーを外した穴には、隣に穴ふさぎとして付いていたねじを取付けてください。
- ※ 上枠には網戸ストッパーと障子ストッパーが取付いています。障子ストッパーの方の位置を変更してください。



※ 上枠には把手を使用される場合のストッパー取付け穴が予めあけてあります。

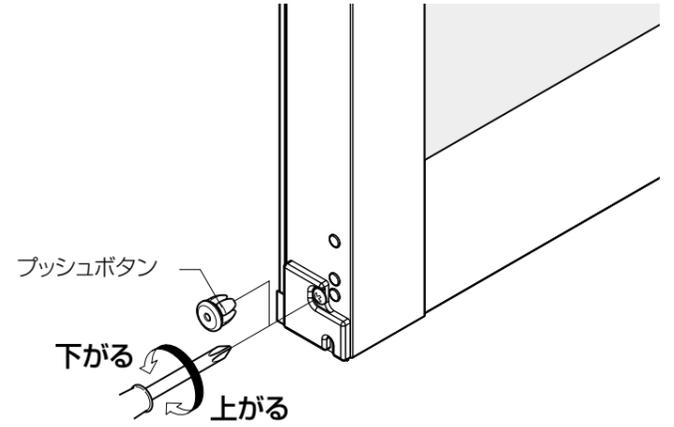
※ 下枠の障子ストッパーには穴ふさぎとして押しボタンが付いています。位置変更後は押しボタンも取付けてください。



障子の建付け調整

1 戸車調整

- 框の一番下のプッシュボタンをいったん外して調整します。
(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※ 出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。



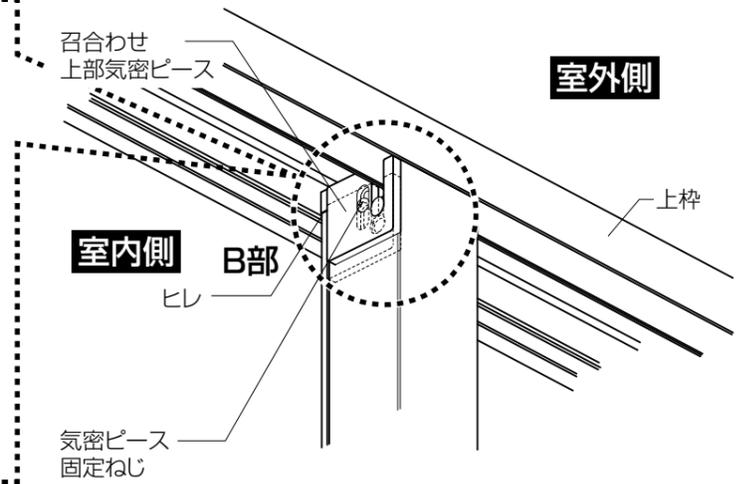
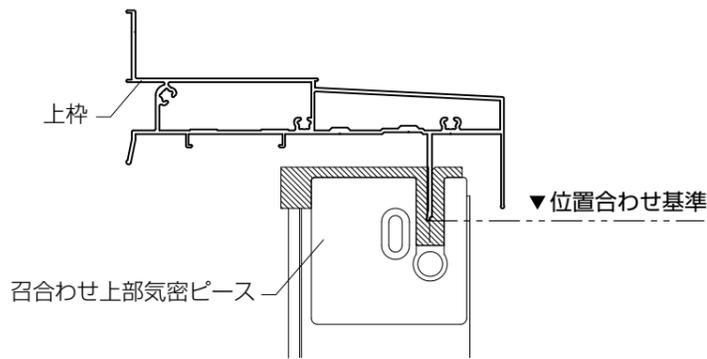
2 上部気密ピースの調整

- 障子の召合わせ框上部にはヒレの付いた部品（召合わせ上部気密ピース）がついていますので、下部気密ピース同様に障子建込み後、上枠にヒレが当たるように部品を上げてください。

B部詳細

<上部>

- ※ ヒレと上枠レールが密着するように気密ピースを上げてください。



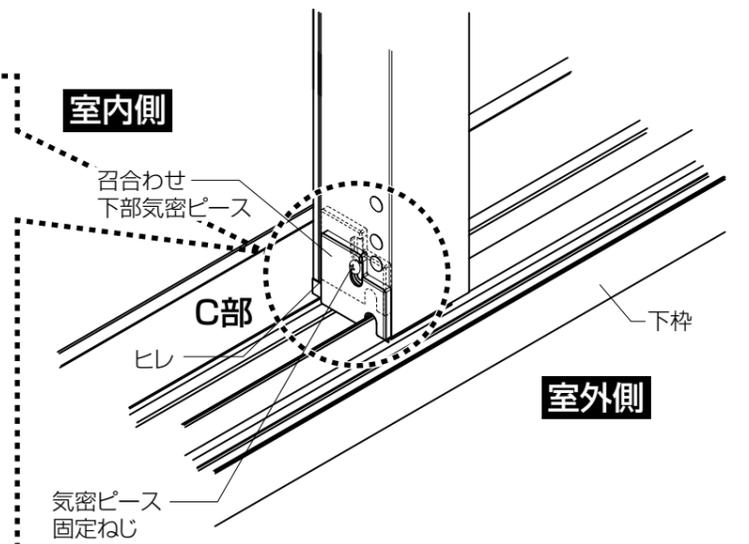
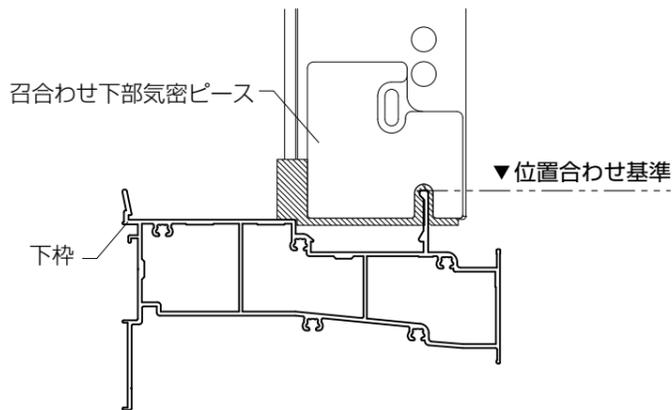
3 下部気密ピースの調整

- 障子の召合わせ框下部にはヒレの付いた部品（召合わせ下部気密ピース）が付いていますので、障子建込み後下枠にヒレが当たるように部品を下げてください。

C部詳細

<下部>

- ※ ヒレと下枠レールが密着するように気密ピースを下げてください。

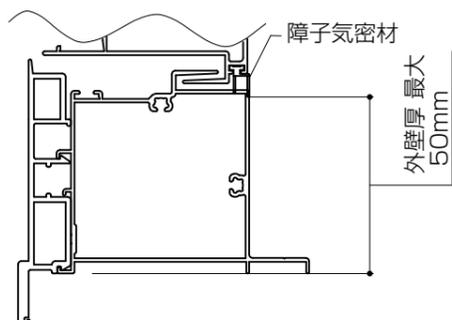


お願い

- 気密ピース調整後、障子の開閉確認をしてください。
- 障子の開閉が重い場合は、召合わせ上部気密ピースの固定ねじを少しゆるめてください（召合わせ上部気密ピースの固定を保持できない状態はゆるめすぎです）。

収納部外壁仕上げ

- ※ 枠の方立外側先端は障子の気密材が当たる位置ですので、シーリングの際にはマスキングテープなどを使用してシーリング材の付着を防止してください。
- ※ 収納部の外壁厚さは50mmまでとしてください。
- 障子ストッパーを外してシーリングした場合は、障子ストッパーを元の位置に必ず取付けてください。下枠ストッパーには穴ふさぎ（プッシュボタン）も取付けてください。



収納側ストッパー位置

